

けません。結核や、さまざま菌によって病気がおこっていますので検査も大変なんです。このように、難しい問題が有りますが地域医療支援病院としてひき続き医師の確保に取り組んで行きます。

浄瑠璃偏ガンは長生き病だ、長生きするからガンが出てくる。3人に1人だ

責城家のかみさんが云っていたけど、たぶんそうゆうことではないですかね。まあ

細菌が癌化してガンになっていくということなのかな、勝手に

何処で死ぬかなといつも考えるんです。僕自身が思っているのは暖かいところ東南アジアぐらいで死ぬというのが私の夢なんです。でも

そこは日赤よりずっとずっと悪い医療だし、それこそ保健もないので、どれぐらいお金が掛かるか解らない。まだしばらく

く時間があるから考えていきます。先程、図書館の話

ができましたけど、北見図書館には司書がいていろいろと助言をしてくれます。病院の図書コーナーに、ボランテイアのアドバイザーみたいな人がいたら心強いですね。

まだ病気になるってないけど何かの時とか、ここ痛いけどずい臓ガンかなとか思ってしまうのが人間なんです。そうゆう情報交換をたくさんする。

今回、僕は会に入ってみてその大切さが本当に分かる。そしてこの吉田院長のスタンスが凄いです。これは市民の皆さんにもちゃんと解って貰わないといけませんね。

善真范永相征金 言巻敦文浩

逢坂 私共の会の平成25年度事業の概略をお話して、病

院のご協力や支援をお願いしたいと考えています。

平成23年の新年号でも採り上げたのですが日赤を中心にした「地域で一つの大きな病院」というような考え方を基に、総合医で日赤OBの開業医の先生を紹介していただいで、そのお医者さん

からいろいろな知恵を戴きながら「かかりつけ医」とどう付き合うかを今一度勉強したいと考えています。

もう一つは先ほど表さんからもありましたが、どこでどうゆう死に方がいいのかという、「看取りと人の死」の問題があります。2025年、日本では年間160万人が亡くなると云われています。病院での対応は難しいと思います。そうなれば、自宅や施設が看取りの場所になります。看取りと死について私たち

は勉強しないとイケません。それをフォーラムなどで地域に発信する事業を考えたいです。また、急性期病院（北見赤十字病院）の外園には

地域が抱える医療問題がこの外に、認知症や在宅での末期ガンへの対応などがありません。これらの問題は範囲が広くとら

えどころがないのですが、自分がとり組める身近な問題から着手して行く予定です。

つきましては、医師や看護師さんと勉強をさせていただく、環境作りにご配慮いただきたいと考えています。

吉田 できるだけのご協力をします。今、国も高齢化社会を迎えまして、いまお話しがあった言葉をつかわれていた

方をしたいか」と言うのが、現在、大きなテーマになっています。日本人は今ままでどこで死ぬのかについて考えなくて

も良かったのです。ところがだんだんと経済的に普通の国になつてきているので、どこの国でも考

えている事を考えなくてはいけなくなっているのです。是非いい機会ですので考えていただければ、病院に対する要望もまた変わってくるかと思

います。本当にありがたいと思います。これから新しい病院に向けているんですが院長先生初め先

生方や看護師さんのお話を伺ったり出来ればいいなと思っていますので、今後ともよろしくお願い致します。



一同 ありがとうございます。Y-滾 敬ヒ 謹賀新年 昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願ひ致します。平成25年1月21日の午後、日赤の会議室をお借りして会の行事である「病院長との懇談会」が催されました。その録音をテキストに起こす作業を阿久津さんと致しました。そのデータ量は3500行ほどでした。このデータを900行ほどの本文記事に整理しました。当方の狭い考えで、編集作業を致しましたので不自然な所や舌足らずの部分があります。ご容赦下さい。（逢坂記）